

第 4 回 美原区のバス利用促進について 考えるワークショップ

日時：日時：平成 2 4 年 3 月 3 日（土）

午後 1 時 3 0 分～4 時 0 0 分

場所：美原区役所 5 階大会議室

議事次第

1. 開 会
2. ワークショップの振り返りと今後の取組み
3. オリエンテーション
4. テーブル議論
5. 発表
6. バスマップを活用した取組み（お知らせ）
7. 閉会

1 開催趣旨

少子・高齢化の進行や環境問題を考えると、「公共交通」の果たす役割は益々重要になってくると考えられます。通勤、通学の手段を確保し、買い物や病院へ行くことができる公共交通を維持することは、住み続けられる環境を実現するために重要です。

しかしながら、公共交通を担うバスの利用者は減少しており、今後もバス交通を維持していくためには、美原区のみなさんにバスを利用していただく必要があり、実際にバスを利用するみなさんと一緒になって利用しやすいバス交通を検討することが必要となります。

本ワークショップは、みなさんの意見・アイデアをいただき、美原区内バス交通の維持・活性化の検討に活用するために行います。

2 ワークショップの役割

ワークショップでいただいた意見や取りまとめた内容は、美原区内バス交通の維持・活性化の検討に活用していきます。また、ワークショップで作成したバスマップは、美原区のみなさんがバス利用時に使っていただけるよう配布する予定です。

議論の内容は、随時、市ホームページに掲載するなど公開していきます。

広く市民のみなさんに考えていただくことにも役立てていければと思います。

3 ワークショップを通じてご意見いただきたい内容と進め方

ワークショップは全4回を予定しており、「美原区内バス交通の利用促進」と「使いやすいバスマップ作成について」の、大きく2つの点について議論していただきたいと考えています。

○美原区内バス交通の利用促進

みなさんにバス交通をもっと利用していただくために、「どのようなことに取り組んでいくことが必要か」について議論をお願いします。

○使いやすいバスマップ作成について

利用促進策の一つとして、利用者への情報提供は重要であり、その手段としてバスマップは有効です。しかしながら、利用する人がどんな情報を必要としているか、ということに配慮してつくられなければ、「使える」情報とはなりません。そこで、実際に生活されている美原区のみなさんに、バスマップに「掲載すべき情報」「必要な情報」などについて重点的に議論をお願いします。

ワークショップの進め方(全4回)

第1回(10月29日)

- ・開催趣旨の確認、参加者紹介
- ・美原区における交通の現状と利用促進の必要性

第2回(12月11日)

- ・バスマップの作成方法と掲載内容等の検討

第3回(1月28日)

- ・作成したバスマップの確認・意見交換
- ・利用促進につながるバスマップの活用方策
- ・美原区アンケート結果の報告

第4回(3月3日)

- ・美原区で望まれる利用促進策のまとめ

4 本日のワークショップの進め方

テーマ：美原区で望まれる利用促進策のとりまとめ

ワークショップでは、バスの利用を促進していくための取り組むべき施策について議論してきました。

そこで、第4回ワークショップでは、第1回～3回までの議論内容を踏まえ、利用促進策の実現に向けたとりまとめを行ないます。

美原区で望まれる利用促進策について、各主体（区民、行政、事業者）の役割分担を明確にし、具現性の高い施策とするために、各施策について、「だれが、どうして（なぜ）、いつ、どこで、何をどのように行なっていくか」を議論していただきます。

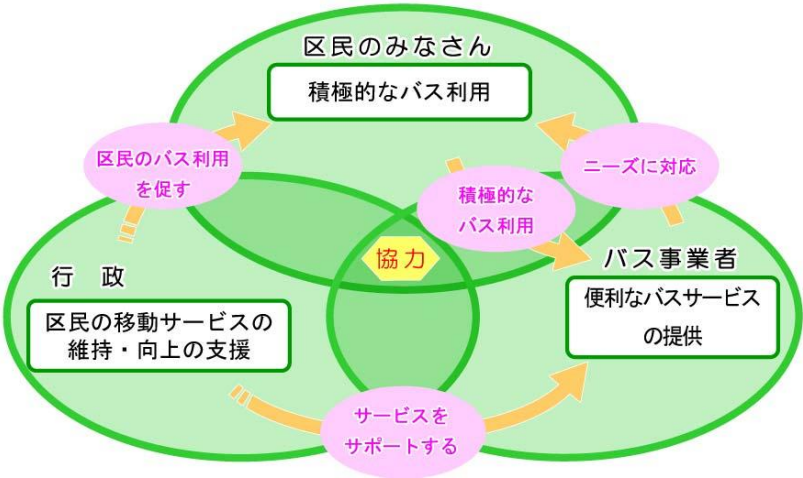
表 役割分担のまとめ方(案)

誰が	施策名	どうして	いつ	どこで	何をする	備考
区民	バスマップハロー(貼ろう)運動	バスを利用するための情報を目立たせておく	いつでも	区域全体	各世帯にバスマップを配布し、いつも壁や冷蔵庫に貼っていただくための呼びかけ等を行う	
	バスマップを利用したウォークラリーへの企画・参加	せっかくバスを便利にしても区民が利用しなければ無駄になるから	●●イベントと併せて	区域内全体(美原区役所集合)	バスマップを用いて、バスを利用しながら宝探しをするイベントを開催	全体のコーディネートにあたっては、行政の協力が必要
	バスマップを配ろう	自宅以外にバスマップを見られるようにする また、地元の事業所等への取組みを促進する	いつでも	区全域、校区全域	作成したバスマップについて配布し、取組み活動の趣旨を説明する。 従業員等も必要であれば、配布する。	バスマップの増刷等
	みんなで利用運動	せっかくバスを便利にしても区民が利用しなければ無駄になるから	いつでも	どこでも	行政が、美原区のバスが置かれている状況の厳しさを、区民に伝えたいので、区民が皆で呼びかけてバスを利用するようにする。 啓発用のチラシ等が必要。	行政の協力が必要
行政	区役所でのバス案内	区役所でバスの行き先を調べたいから	いつでも	区役所窓口	バス時刻表を見せていただき、わからないことについて教えていただく	
	乗継ぎ利便性向上施策	駅前であるのにバスを乗り継がないといけない	いつでも		乗継ぎの時間を短縮させる 降りた先に案内を設置する	
事業者	バス車両の改善	車高が高いと乗車しにくい	いつでも	〇〇バス停から北野田駅前		

空欄をご記入いただきます

【利用促進に向けた利用促進に向けた役割分担イメージ】

美原区のバス交通を支えていくためには、区民、交通事業者、行政の各主体がそれぞれの役割を担い、協力して取組んでいく必要があります。



主体	担うべき役割
区民	積極的にバスを利用し、区民が主体となって取り組むことができる利用促進に取り組む。
行政	区民のバス利用を促す取組みを行っていく。 特に、区民の積極的なバス利用に資する取組みについては、その機会創出や運営のサポートを行っていく。 利用者ニーズをバス事業者に伝え、移動サービスの維持、向上の支援を行っていく。
バス事業者	利用のニーズに対応した便利なバスサービスを提供することにより、バス利用者を増やし、継続的な運行を維持する。

5 バスマップを活用した取組み(お知らせ)

ワークショップで作成したバスマップを配布します

美原区自治連合協議会を通じて7月頃にバスマップを配布する予定です。

また、美原区役所市政情報コーナーや堺市役所公共交通課で配架するとともに堺市公共交通課ホームページにも掲載します。

バスマップを活用した利用促進策を実施します(予定)

ワークショップでいただいたご意見をもとに、取り組める施策から順次取り組みたいと考えております。

バスマップを活用して取り組みたい利用促進策として、「バスマップを使って美原区を巡りたい」というご意見が多数ありました。そこで、地域の取り組みとして、下記に示す「(仮称)美原区バススタンプラリー」の開催を予定しており、堺市、大阪大学も協力して取り組んでいきたいと考えています。

なお、(仮称)美原区バススタンプラリーを開催するにあたって、どのような場所をチェックポイントとするかなど、一緒に検討していただける方を募集します。日程など詳細が決まりましたらご連絡いたしますので、ご参加をお待ちしております。

【(仮称)美原区バススタンプラリー】

○開催にあたっての検討会

平成 24 年 4 月頃(予定)

○主な検討内容

チェックポイントとする場所

- 「地域自慢のところ(名所・旧跡など)」、「きれいな景色」、「面白いところ」、「珍しいところ」など教えてください

○スタンプラリー開催時期

平成 24 年 5 月末～6 月上旬(予定)

○企画案

- ・ バスマップを使って、区内に設定されたチェックポイントを各自で巡り、時間内の到着をめざす
- ・ スタート地点とゴール地点のみ決めておき、チェックポイントは複数ある中から各自訪れてみたいチェックポイントを巡る
- ・ チェックポイントでスタンプを押してもらう

